



新しい年がスタートしました。二期目の議員活動では、宝塚市議会女性議員「リボンの会」や民主党女性議員ネットワーク会議など、女性議員のつながりで研修や活動を広げています。また、配慮の必要な子どもたちへの人的支援や学校園の教育環境充実に向け、阪神政策研究会などで勉強を続けています。

子ども、女性、高齢者、障がいのある人等「社会的に弱い立場の人」の暮らし最優先の政策提言をこれからもおこなってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

活動報告～抜粋～

10月

- 4日 市議会本会議
- 8日 兵庫県教職員組合60周年式典
- 11～12日 全国都市問題会議（静岡）
- 20～22日 姉妹都市40周年式典（松江）
- 24～26日 文教生活常任委員会行政視察
（東京都八王子・新宿、富山）
- 28日 ピンクリボンスマイルウォーク

11月

- 4日 たからづか民族まつり
- 7日 宝塚市退職教職員の会・秋の催し
- 10～11日 兵庫県教育研究集会
- 13～14日 少子・高齢者対策調査特別委員会視察
（福岡県大牟田・前原）
- 16日 阪神網の目・教育要請行動
- 17日 民主党兵庫県連大会
- 18日 未来ネット・高校問題学習会
- 21日 12月定例市議会（決算認定）
- 23日 第10回「駅前議会」

12月

- 2日 教育文化フォーラム
- 3日 民主党県連パーティー
- 4日 定例市議会（～19日）
- 8日 連合もちつきフェスタ
- 8日 阪神政策研究会



24時間保育の新宿ABC保育園
「子どもを愛する気持ち」が
そこにはあふれていました



第69回 全国都市問題会議
「分権時代の都市とひと—地域力・市民力—」
平成19年10月11日(木)～12日(金)

12月定例市議会報告 一般質問及び答弁～抜粋～

1. 社会教育について

①宝塚市は宝塚歌劇のみならず、芸術・文化都市としての知名度も高く「宝塚検定」を実施すれば、市民の郷土への関心を高める効果とともに、対外的なPRともなり、我が街の活性化に有効な手立てとなるのではないかと。

②宝塚大事典の活用については、わかりやすいまんが等での啓発や「宝塚学」講座とその放送やCD制作を考えてみてはどうか。

〈教育長答弁〉

①実施母体、実施機関等、実現に向けて具体的な方向性について庁内で検討をすすめている。

〈社会教育部長答弁〉

②公民館において、市民カレッジ2008「宝塚学」講座をスタートさせたい。内容は、宝塚大事典から、歴史、文化・芸術、自然の各分野でカリキュラムを組む。そしてその成果を検証するための「宝塚検定」へとつなげたい。

2. 市立図書館について

①阪神7市1町「図書費の推移」グラフをみると、2002年の4900万円からおよそ6割になり、宝塚市だけが図書費が減り続けている。増額するべきである。

②市民の生涯学習保障の観点からも図書館の充実が必要不可欠であるが、市長の見解は？

③パブリックコメントでは、学校図書館司書の配置についての強い要望があったが、他市の状況と本市の展望は。

〈教育長答弁〉

①図書費の増額は大変困難だが、引き続き努力したい。

〈市長答弁〉

②図書（費）は、図書館のいのちである。しかし今しばらく辛抱をお願いしたい。

〈教育長答弁〉

③猪名川町は常勤、伊丹・西宮・尼崎・芦屋は非常勤であるが、専任司書や司書教諭・図書館指導員などを配置。本市は文部科学省の学校図書館支援センター推進事業終了後、方向性を検討する。

3. 地域子育て支援と児童養護施設について

「虐待をうけた子ども」に対して、必要性が増しているのは家庭型ケア環境の提供であり、地域小規模児童養護施設「御殿山ひかりの家」の充実がいつそ期待されている。「ひかりの家」が果たしている役割は？

〈市長答弁〉

「御殿山ひかりの家」で実施しているショートステイ及び緊急一時保護、24時間子育て電話相談は、本市における子育て支援施策として今後も不可欠な事業であり、同施設は非常に重要かつ貴重な存在となっている。

4. 都市計画道路荒地西山線整備事業について

①今回の工事区間と接続道路沿道部分の環境調査の結果について。

②本工事区間の、歩道・側道・トンネル化・吸音板・遮音壁等の環境保全措置と比べ、接続道路は暫定工事となり、対策は不十分ではないか。

〈市長答弁〉

大気汚染と振動は基準を満たすが、騒音については環境基準をオーバーする。

〈副市長答弁〉

工事区間では吸音板・蓋がけ・遮音壁等の対策によりクリア。既存道路部分では低層遮音壁等の対策を行っても5デシベル上回るので開通までに対策を検討。

本当に必要？

公共事業と補助金のありかたには色々議論のあるところですが、この事業はとりわけ非常に多額の資金が必要な公共事業です。しかも、この区間が終了したとしても、引き続き「宝塚ゴルフ場内」から逆瀬川と白瀬川分岐点付近を抜けるルートまでには、さらに数十億円の資金が必要になります。また、その付近は、ホテルや、「日本でいちばん美しい赤とんぼ」とも呼ばれる希少種の「ミヤマアカネ」の貴重な生息地でもあり、工事による自然環境の破壊も懸念されます。

2004年当時、渡部市長は、「本市の非常に厳しい財政状況を考慮すると、投資的事業については見直しをせざるを得ないと考えております。」として荒地西山線工事の一時休止を決断しました。

阪上市長にも、今の本市の厳しい財政状況を踏まえて、再考をお願いしたいです。荒地西山線道路整備は、今すぐ必要なものでなく、現生活道路のバリアフリー等の環境整備が先ではないでしょうか。95億円もの多額の事業は一時休止し、市民の「生命」「福祉」「教育」に関わる施策を優先してほしいと思います。

5. 男女共同参画社会実現のための施策について

本市の男性職員の育休取得等、現在の状況は。また「ワークライフバランス」について、事業主への研修や啓発活動をおこなっているのか。その目標達成のための方策は？

〈市長答弁〉

18年度の育休取得は1/48。22年度までに男性の育休取得率10%をめざす。

〈副市長答弁〉

取得しやすい環境整備と固定的な性別役割分担意識の是正の取り組みをおこなう。

- ①育休や部分育休制度の周知
- ②とりやすい雰囲気醸成
- ③円滑な職場復帰支援

〈市長答弁〉

あらゆる機会をとらえ事業所への啓発活動、男女共同参画推進リーダーの育成等をおこなっていく。

北野さと子の一般質問の様子は、FM宝塚で放送されます。

【放送予定日時】

1月21日(月) 午後1時～

— 宝塚市議会 —
リボンの会

MEMBER FILE



001 石野加代子



002 大森波紀子



003 北野洋子



004 酒井洋子



005 寺本洋子



006 藤岡 邦枝



007 山本 洋子



008

File No.8は
あなたです。

私たちは
めざしています。

- 「どうして?」とみんなが思うことの解明と解消!
- 「こうすればいいね」とみんなが思うことの実現と制定!
- 「絶対に許せない」とみんなが思うことの見直しと撤回!

**宝塚市立病院 産婦人科
 早期再開を!**

宝塚市立病院産婦人科休診の問題では、9月市議会決議に続き街頭署名活動を行い、病院長と市長あてに「市立病院産婦人科再開を求める要望書」を署名6715筆とともに提出しました。



2007/12/18 要望書提出



街頭での署名活動

~風のココロ~

社会問題となっている「無戸籍児」の解決に向けては、国において「子の早期の身分保障」と「福祉の実現」のため、民法第772条の「摘出推定」を見直し、現実に即した法改正が求められています。どのような子どもであっても、差別を受けることがなく、必要な住民サービスを受けられるように配慮すべきと考えています。

◇発行人◇ 北野さと子
 ◇連絡先◇
 〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209
 Tel&Fax 0797-73-4556
 ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>